

安藤健浩 / andoo.jp

ブランドとデザイン：

安藤健浩（アンドウタケヒロ）はプロダクトデザイナーであるとともに、立体アーティストでもあります。このサイト“andoo.jp”は安藤デザインのプロダクト・ブランドです。

andoo.jp では、製品を開発する際、目的になるアイテムのフォルムの美しさはもとより、使用する素材の特性を前面に押し出し、かつ可能な限り簡素な製造工程を実現させることを念頭にデザインに取り組みます。形状の集積によるデザインも得意とする分野です。

特に、このサイトで紹介している製品“FELT UNIT”（CUMA / CROSS）はこのブランドの最新アイテムであり、安藤が現在最も力を入れて取り組んでいる製品のひとつです。

フェルトユニットは単純な手順で自由に連結可能なデザインがされており、利用範囲が広い製品です。フェルト素材の原料であるウールの柔らかな表情はもとより、カットしたままで形状を維持出来るフェルト特有の性質を生かすように設計され、さらに、原毛の段階で染色することで深みのある色合に仕上げる事が可能になっています。その他、ウールの保温性や防音性など見逃せない機能性です。

そして、連結することで出来る立体的な文様や空間はこの製品の最大の魅力であり、生活空間・ファッション・玩具等々、アイデア次第でその用途は無限に広がります。

コンセプト：

素材や技術が多様化する現在、場によってデザインの目的は様々ですが、私たちは常に”モノ”の存在そのものを創ることを強く意識しています。時には、デザインの力で誰もが知っているありふれた素材に新たな居場所をつくることや、現代の素材に伝統的な技術を利用することも。andoo.jp は自分も人も「ドキドキ」できるデザインを目指します。

デザイナー：

安藤健浩：神奈川県生まれ。1992年／東京芸術大学大学院美術研究科構成デザイン専攻修了。以後、立体アーティスト／デザイナーとして商業施設（資生堂ウインドウ、デザイン／製作等）、舞台美術（NHK、TBS、セットオブジェデザイン／製作等）、常設アート（東京都水の科学館、サントリー武蔵野工場、モニュメントデザイン／製作等）、広範囲でデザイン／製作活動。

2000年頃からインテリアに向けて家具やその他の装飾デザインを手がける。

安藤はデザインやアートの分野に留まらずおおらかな感性で表現活動をしています。

それは、美しいフォルムであることはもちろん、機能性と素材の特性を高次元で融合します。

報道関係者様へ：

製品、展示企画等の情報は安藤デザインのプロダクト・サイト“andoo.jp”をご覧ください。

<http://www.andoo.jp>

サイト内の “FOR PRESS” ページでは高解像度の画像データ、製品仕様書、安藤健浩紹介がダウンロードできます。

http://www.andoo.jp/press/press_kit/andoo_press.html